

大友又治 議員



活力ある町づくりのために ～定住促進・交流拡大施策を～

町長——雇用拡大・産業振興や 町の魅力を発信していく

議員 ①定住促進のため
(1)商工業の育成・支援策は。
町長 平成19年度に産業振興条例を制定し、産業の振興に必要な奨励措置及び便宜の供与を図り、町民の雇用の拡大と産業の振興を図っている。平成20年度に金属加工工業の企業を誘致した。平成22年度末で土地取得奨励金、操業奨励金及び雇用奨励金合計で87万6千円を交付し、企業を支援し、今年度は、約200万円を見込んでいます。

議員 (2)「産業振興就業資金貸付基金(仮称)」創設で新規就業促進を。
町長 農林水産省より、平成24年度予算概算要求で、青年新規就農者の年間2万人確保等が示された。

農業大学校などの農業経営育成教育機関や先進農家、先進農業法人で研修を受ける場合に年間150万円を給付する制度

で、青年就農給付金・準備型とされている。
県では、国の給付金事業を補完する形で独自支援を来年度実施のようだが、国・県ともに詳細がまだ示されていないので、内容を精査し、総合的な支援対策をと考えている。就業資金貸付基金は、町単独での必要性、他の産業との関係、整合性を考慮しながら検討したい。

議員 ②交流拡大のため
(1)ご当地グルメ開発や支援の考えは。
町長 町民皆で親しまれるグルメが、町内飲食店等でもいつでも食べられることは、町の自慢、町の活性化・交流人口拡大につながる大きな「資源」となる。これまで開催してきた食のイベントなどのノウハウを生かし、挑戦者の発掘や商品開発、関係機関への働きかけ等、チャレンジや機会創出の応援をしたい。

議員 (2)景観形成による町づくりの考えは。
町長 平成18年度より取り組んできた、まちづくり交付金事業では、駅周辺の整備を行っており、駅西住宅、駅東広場、跨線橋の改修による自由通路の整備等で東西の空地の景観を整備してきている。今後、第5次真室川町総合計画の土地利用の方向を基本とし、社会資本整備総合交付金等のメニューを活用した市街地の形成に努めている。



大盛況のまむろがわ逸品展

成に努めている。
議員 (3)町ホームページの更新・拡充を。
町長 現在、町ホームページには1日200から300件のアクセスがある。昨年度は、ホームページのトップに「注目情報」と「新着情報」を移動するなどレイアウトを変化させ見やすいホームページに努めている。また、町の食文化や風物、ブランド認定品など町の魅力を発信する「真室川ブランド」サイトや観光情報などでタイムリーな情報を提供している。今後も閲覧者や検索者が求める的確な情報表現に努め、魅力のあるホームページにしたい。

外山正利 議員



町立真室川病院改革プラン点検・評価・公表について伺う

町長——評価委員会より概ね適正となっている

議員 町立真室川病院改革プラン23年3月で丸2年が経過した時点において点検・評価の結果、達成が著しく困難であると認められた時は、改革プランの全体を見直すとなっている。病院評価委員会の評価の結果がどのような評価だったのか。

町長 平成22年度の診療報酬改定では、全体で0・19%のプラス改定を行った。

しかしながら改定では、救急・産科・小児科・外科の充実などに重点配分されたことから、当病院への大きなプラス要因とはならず病院の経営環境は依然として厳しい状況下にある。

議員 改革プランの全体見直しが必要なのか。
町長 数値目標は見直し



病院待合室

の必要はないとの判断を頂いている。
議員 最終年度までの数値計画の変更があるのか。

町長 最終年度の数値計画変更についても必要はないとの判断をいただいているので、考えていないが、人口減少など各年代別の人口構成を精査しながら、もう一つの大きな課題である医師確保対策の結果によって

議員 評価委員会

の在り方について、病院改革プロジェクトあるいは運営委員会の設置など検討すべきと考えるがいかがか。

町長 改革プラン評価委員会に代わるプロジェクトチーム等立ち上げは考えていない。

尚、現在の評価委員の方々につきましては今年度、任期満了になることから、今後の選任にあたっては、広範なご意見を伺いするため公募や企業経営者等も年頭に置き検討

議員 医師・医療従事者の確保対策の取組は。

町長 医療収益をのぼすことが最も重要なことであり、医師確保は絶対的な要因である。

これまで、山形大学付属病院や県福祉部・自治

医大に医師確保お願いに伺っている、看護師は今年度2名退職予定に對して、4名採用内定を行い看護師不足の解消に努めている。

議員 業務量の確保対策は。

町長 医師確保がこれらの解消と訪問診療などを含めた業務量の拡大に繋がっていくものと考えている。

議員 保健医療事業・組織全般について見直しが必要と思うがいかがか。

町長 保健医療事業の全般的な見直しについては、まだ考える段階ではないと判断している。採算性の追求や経営課題に對応していく為、経営責任の所在を明確にし、企業感覚による病院経営を追求していく。